

第9期千葉県生涯学習審議会第2回会議及び  
平成24年度第1回千葉県社会教育委員会議事録

平成24年7月9日(月)  
午後2時30分から午後4時25分  
千葉県庁南庁舎9階第3会議室

出席委員(敬称略五十音順)

赤田 靖英	黒澤 真澄	坂井 麻貴子	佐久間 敦子
朱膳寺 宏一	関 亮	高田 悦子	福留 強

出席事務局職員

千葉県教育委員会教育次長	松本 芳昭
千葉県教育庁教育振興部生涯学習課長	黒川 浩一
さわやかちば県民プラザ所長	堀田 弘文
千葉県立中央図書館長	葉山 龍次郎
千葉県立西部図書館長	江澤 義夫
千葉県立東部図書館長	河野 明美
教育振興部生涯学習課	
主幹兼学校・家庭・地域連携室長	篠原 和行
学校・家庭・地域連携室副主幹	大胡 克己
同 副主幹	加藤 雅博
同 副主幹	田中 憲生
主幹兼社会教育振興室長	奥山 恵子
社会教育振興室主幹	西沢 峯夫
同 副主幹	高橋 正名
同 副主幹	金田 幸夫
同 社会教育主事	鶴岡 敦
同 社会教育主事	矢部 進
同 社会教育主事	高蝶 武
同 社会教育主事	山内 一浩
同 社会教育主事	岡野 健一郎
同 社会教育主事	小泉 弘代
東上総教育事務所社会教育主事	小幡 亮二
東葛飾教育事務所社会教育主事	梅澤 一久

1 開 会

2 あいさつ

教育委員会あいさつ（松本 教育次長）

会長あいさつ（福留 生涯学習審議会会長・社会教育委員会議議長）

3 報 告

（1）平成24年度生涯学習課の主要事業概要について

〔資料を事務局から説明〕

4 議 事

（1）平成24年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について

〔資料を事務局から説明〕

議 長

事務局から補助金に関する説明があったが、質問・意見はあるか。

委員

会則の所在地と申請の所在地が異なる団体が2つあるので、指導していただきたい。

委員

1 団体が交付金を辞退するという説明があったが、限られた団体の既得権化があるのではないかという思いがある。できるだけ他の団体へも門戸を開いていただける取組をお願いしたい。

事務局

団体の所在地については確認したい。補助金の交付対象団体については、今後検討していきたい。

委員

会則の所在地と申請の所在地が異なる団体の1つは、会則の最後の行の内容で対応できると思われる。

以上質問等のあと、委員に諮り承認を得る。

（2）家庭教育支援について

①平成24年度千葉県家庭教育支援、千葉県家庭教育支援今後の取組の方向性

〔資料を事務局から説明〕

議 長

事務局からの提案を受けて、質問、意見を求める。

議 長

5ページの「千葉県家庭教育支援 今後の取組の方向性」は、各教育委員会や県民など、どのように投げかけるのか。

事務局

まず、市町村教育委員会を中心とした担当者に提示し、県はこのような考えであるということを伝え、各市町村、教育委員会に協力を要請する。

議 長

提案する機会はあるか。

事務局

市町村担当者会議や課長会議等で提案したい。

議 長

5ページ（千葉県家庭教育支援今後の取組の方向性）を詳しくしたのが6ページ（千葉県の取組、市町村の取組）だと思うが、御意見はないか。

委員

県は、「地域」をどのような概念でとらえているか。

事務局

いろいろなとらえ方があるが、小中学校では学区として、市町村においては市町村そのものととらえている。

委員

「地域」といった場合、国、県、市町村によって概念が違ってくるが、平成20年の中教審の答申では、小学校区としている。

4月から地区の町会にかかわっているが、問題となるのは高齢化と子どもの安心、安全である。

町会では、高齢者などいろいろな分野の情報は入ってくるが、子どもの情報はほとんど入ってこない。私の町会では、いろいろな係があって、自治会等地域のつながりがある。行政が公民館と地域を結び付ける働きかけをし、公民館は地域を支援できるとよい。町会が、学校の問題を支援したいが情報が伝わりにくい。

議 長

マスコミでは、地域と地区はどうとらえているか。

委員

明確なことを確認しているわけではないが、地域は、市町村の中のそれぞれの地区と地区を併せもったような広がりのあるものだと思う。

委員

子育てや地域の問題を考えると、小学校の学区は有効である。勤務校地域は、小学校2校、中学校1校、県立高校2校ある地域で、子ども会の育成会等ほとんどの団体が参加する東部地区青少年健全育成連絡協議会というものがあり、年2回、全ての会長さんが参加して社会教育のこと、学校のこと、地域の治安のことなどを話し合っている。小中学校地域単位で、子育てや高齢者福祉の問題等を話し合える組織が千葉県に広がるとよい。

子育てのリーフレットを活用するためには、学校の果たす役割は大きい。また、親育てのために学校がすること、地域がすることがうまく機能すれば、千葉県はとてもよい環境になっていくと思う。

議 長

他に意見がなければ、今までの意見を参考に今後の取組の方向性を進めていってほしい。

次に、幼児用リーフレットについて事務局、説明をお願いしたい。

②家庭教育リーフレット（幼児版）の作成について

〔資料を事務局から説明〕

議 長

今の幼児版リーフレットの説明について、意見、質問はあるか。

委員

わかりやすくできている。小学校に入学するまでの見通しがもてる。できない項目があると悩んでしまうお母さんもいるので、チェックリストがなくなったのもよい。表紙のカルタの絵で、何のことだろうと引き付けられるのもよい。最後のページで、子育てについて相談できる機関が紹介されているが、相談をためらう人もいると思うので、気軽に相談できる手だてがあるとよい。

委員

わかりやすくまとめられている。各市町村の保健センター、社会福祉協議会、NPO法人などの子育てマップと一緒にこのリーフレットを配布できるとよい。「親力アップいきいき子育て広場」のように携帯サイトで情報提供するのもよい。

## 委員

自分の市の4カ月、1歳6カ月、3歳6カ月検診の受診率は90%を超えるくらいである。最近「孫育て」という言葉が聞かれるように、祖父母が孫のめんどうをみる家庭が増え、孫育てに関する本もある。図書館に孫を連れてくる方々も増えているので、社会教育施設の窓口リーフレットを置けるとよい。「親力アップいきいき子育て広場」については、ウェブサイトであることを一言付け加えるとよい。リーフレットの最後のページに、保健センターや発達センターという言葉が6回、相談くださいという言葉も6回書かれているが、図書館、公民館、児童館でも子育てに関する相談や事業があるので、載せていただけるとありがたい。

## 議長

相談したい一覧を載せたカレンダーになったら家の壁等に貼るのではないかな。大切な言葉である「だいじょうぶ！」という言葉をもっと大きくし、全体的にシンプルであってもよいかもしれない。

## 委員

全体的によくできている。リーフレット作成委員の方々は人口密度の高い地域の方が多いようである。県全体の地域でリーフレットを活用することを考慮すると、人口密度が低く子育てについて近所に相談できる人がいない方々にも活用できるものになるとよい。地域の参考となる情報も載せられるとよい。いいことも困ったことも気軽に相談できるようなものになるとよい。

## 議長

本日、委員から出された意見を参考にリーフレット作りを進めていただきたい。

## 委員

配布するのは、就学時健診の時か。

## 事務局

3歳児検診時である。使い方も説明していただく予定である。

## 委員

就学時健診時であれば、家庭教育と学校教育がつながる文書も加え、家庭教育の重要性をお知らせできればと思ったが、3歳児検診時であれば、このままでよいと思う。

## 委員

リーフレットを配布するときに、県教育委員会の考えが伝わるように自信をもって各市町村に説明していただきたい。

委員

先ほど「だいじょうぶ！」の言葉をもっと大きくという意見があったが、その後押しとして、保護者の方を支える保健センターや図書館やNPO等のネットワークを紹介してほしい。「私たちが応援してます」、「お子さんと一緒に楽しみませんか」というような表現で、見てわかりやすく、気軽に相談できるようなものになると、壁等に貼って活用していただけたらと思う。

議 長

報告資料の平成24年度生涯学習課の主要事業概要は、この会議のために作成されたものか。

事務局

県のホームページに掲載されている。

議 長

予算の伴わない事業であるかもしれないが、公民館関係の事業を載せられるとよい。

議事（3）その他はないということで、以上で議事を終わります。

事務局

議長ありがとうございました。それでは事務局より連絡させていただきます。

次回の生涯学習審議会・社会教育委員会議については、10月または11月を予定している。後日、委員の皆様にご連絡し調整していきたい。

5 閉 会